

氏名：尾崎孝宏

氏名のローマ字表記：OZAKI Takahiro

所属：鹿児島大学

専門分野：文化人類学

発表のタイトル：イントロダクション

発表要旨（600字～800字程度）：

千葉大学で開催される日本モンゴル学会2024 春季大会において、当方が日本側PI を務めている日本学術振興会の国際共同研究「ポストコロナの内陸アジア牧畜民社会に関する比較研究：モンゴルおよびキルギスの事例」（通称PPIA プロジェクト、英国との国際共同研究プログラム（JRP-LEAD with UKRI））の報告会として、以下のメンバー構成による分科会を実施させていただきます。当方の発表は、本プロジェクトの紹介と趣旨説明を簡単に行います。

本プロジェクトは令和3 年12 月から令和6 年11 月までの3 年間で予定しており、モンゴルとキルギスという低中所得国において伝統的な生業形態に従事してきた牧畜民の社会に対し、コロナウイルスのパンデミックが現地の環境的・社会経済的要素と相まって及ぼした影響を評価したうえで、ポストコロナ時代の包括的かつ持続的な政策対応を模索すべく、日本と英国の文化人類学・地理学を主とする多分野の専門家が協働して実施するプロジェクトです。参加者は日本の8大学と英国のオックスフォード大学に所属する研究者で、過去の共同研究の経験を活かして共同研究を実施しています。

共同研究の実施内容については個別の発表者が詳しく紹介してくださると思います。現在、共同研究の最終成果報告書として英語の学術書の刊行準備を進めており、”Rural transition in post-pandemic Mongolia and Kyrgyzstan（仮題）”という研究書を英国White Horse Pressより出版する予定となっています。